

2002年1月4日

年頭所感

明治生命保険相互会社
社長 金子 亮太郎

新年あけましておめでとうございます。

21世紀の幕開けから1年が経ちました。長引く景気低迷など、重苦しい雰囲気の中かで迎えた21世紀でしたが、昨年暮れには、日本中の人々が久しく待ち望んでいた内親王殿下のご誕生という、明るい出来事に恵まれました。心からお慶び申しあげるとともに、明けた2002年が、希望に満ちた21世紀を築く確かな一歩となることを切に願っております。

昨年当社は、わが国最初の近代的生命保険会社として、「二度目の遺暦・創業120周年」を迎えました。8月には、わが国初のアカウント型保険として21世紀に先駆けて、ミレニアム4月に発売した「ライフアカウント L.A.」が、おかげさまで多くのお客さまにご支持いただき、新契約で100万件を突破し、ミリオンセラーとなりました。また、商品・サービス面においても、介護保障特約「ナーシングケア」をはじめ、「がん特約」、業界初のアカウント型医療保険「メディカルアカウント m.a.」と、充実した新商品をご提供するなど、新しい時代の第一歩として、力強い歩みを踏み出すことができました。

21世紀に入り、生命保険事業の担う役割が、死亡保障はもとより資産形成も含めた老後保障、医療保障、介護保障など、より広い分野でますます重要になる一方、生命保険事業を取り巻く環境も、市場原理と自己責任原則に基づく本格的な自由競争が急速に進展しています。

当社はこのような環境を踏まえ、保険・年金、医療・介護保障とアセットマネジメントを明治生命グループのコア事業と位置付け、昨年4月にスタートさせた新しい中期経営計画「新世紀・新創業計画」に基づく取組みを一層推し進めるとともに「お客さま信頼度トップ」の商品とサービスのご提供を着実に実現してまいります。

内親王殿下には、敬宮愛子さまと命名されました。「愛」は、日本語で一番美しい言葉、優しい言葉です。生命保険は「愛」「人間愛」の精神に基づく助け合いの仕組みです。

私たちは「ライフアカウント L.A.」と心のこもったコンサルティングサービスによって、「愛」をかたちにし、より多くのお客さまにお届けしていくために、今年もつねに新鮮な活力を漲らせ、全役職員が使命感に燃えて努力していく所存です。

本年も皆さまのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上